

桜井市議会議員

やすおき 靖起

つちや 士家



活動報告

第61号

連絡先 633-0064 桜井市戒重57 電話0744-43-9288 FAX0744-43-9295
メール tuchiya@seikatubunka.jp

洪水ハザードマップ

市が今年度中に最新版作成し全戸配布 市民周知の必要性を訴え

桜井市議会の土家靖起は昨年の市議会12月定例会の一般質問に登壇し、近年全国各地で発生している集中豪雨をはじめとした大規模な風水害に備え「洪水ハザードマップ」の市民周知の必要性を訴えました。市は最新版を今年度中に作成し、全戸配布するほか、市民それぞれが危険箇所を認識するよう、周知徹底の取り組みを進めていくと答弁しました。また本町通りを中心とした貯留槽の早期建設を求め、予算化検討の答弁を得ました。

土家 昨年9月、10月の台風では全国各地で洪水被害があった。この災害で注目されたのが洪水ハザードマップ。多くの被害は災害リスクが高いと公表されていた地域で発生したことが報道されている。

桜井市においても既にハザードマップを作成しているが、その内容を把握している市民は少ないと考える。洪水ハザードマップの周知は大変重要になるが、これらについて市長の考えを聞きたい。

市長 議員ご指摘のように桜井市でも市民の皆さまが浸水想定区域や土砂災害警戒区域などのリスクを容易に確認でき、避難が必要な方々が適切なタイミングで避難行動を起こすことのできるようにするため、ハザードマップを最新の知見を反映させた状態にして整備するとともに、引き続き市民の皆さまにハザードマップの周知を進

め、自らの命は自らが守る意識の高まりを促進する取り組みを進めていきたいと考えている。

土家 近年は地球環境の変化から、大規模な洪水はどこにでも起こり得ることで、桜井市も例外ではなく、「想定外」という言葉は当てはまらなくなっている。桜井市では現在、ハザードマップの見直しを行っているが、近年、浸水想定区域外で洪水があったかどうか、また見直しの進捗と内容について聞きたい。

都市建設部長 現在配布されているハザードマップでの浸水想定区域外では本年度、水路に土砂が流入し、水路断面不足による床下浸水が発生した。また短期間ではあるが、集中豪雨による床下浸水が発生、集中豪雨による道路側溝や小水路が満水になり、一時的に浸水が起こった事例もある。現在ハザードマップの見直し作業を行っているが、内容については、市内全域の土砂災害警戒区域と土砂災害特別区域、浸水想定区域の更新や浸水想定区域および土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の追加一覧、避難経路の表示、アンダーパス箇所の表示などを追加し、ISOなどの基準や色覚障害のある人へ配慮を行った配色にするなど、わかりやすいハザードマップ作成を進めている。今年度末には完了し、新年度早々に桜井市の広報紙と同時に各戸配布

する予定。

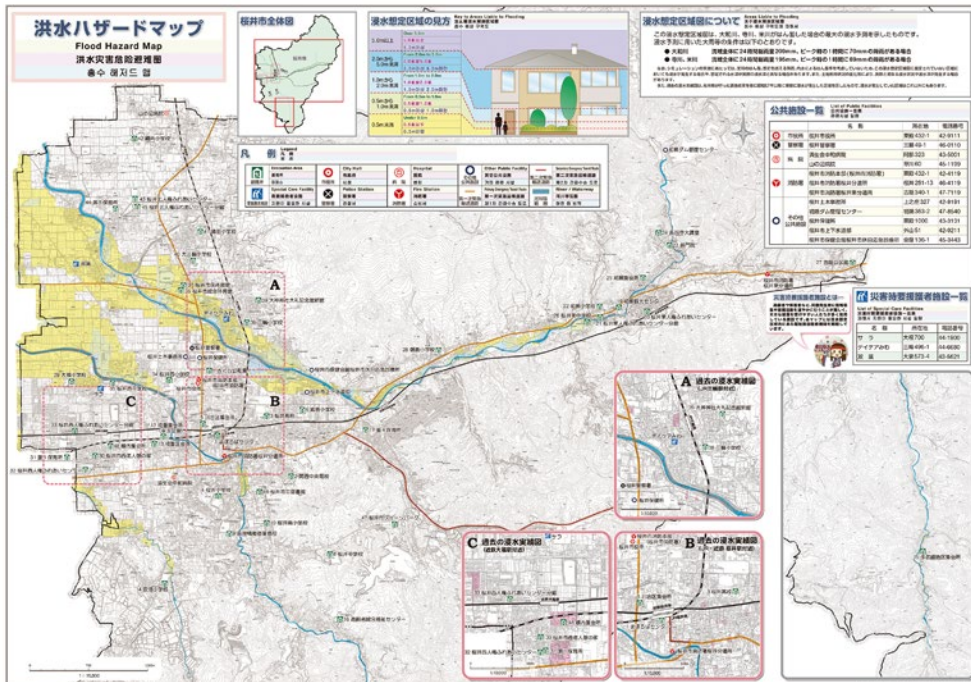
土家 昨年11月にNHKが調査した結果では、台風19号、その後の豪雨では40.3%の方が「ハザードマップを知らなかった」と回答しており、また「知っていたが参考にしなかった」との回答が28.3%あった。果たしてどれだけの市民が洪水・土砂災害ハザードマップを知っておられるのか、今回のNHKの調査からも疑問に感じる。

やはり作っただけでなく、その後の周知が非常に重要であることも浸水想定エリア、そのリスクを伝えることも非常に大事。前回作成のハザードマップについて、どのような周知を行ったのか、またどの程度の市民の方が知っ

ておられるのか、その点を聞きたい。

市長 これまでのハザードマップは平成21年4月に初版を作成し、全戸配布した。同28年3月にはさまざまな行政情報を集約した「くらしの便利帳」にハザードマップを掲載して全戸配布し、市のホームページや広報誌、そのほか地域の自主防災組織の研修会を通じて周知している。また報道などでハザードマップの重要性が取り上げられ、市民の皆さまへの関心は以前と比べて高まりを感じられるが、議員ご指摘のように、これまで行ってきた方法に加えて、あらゆる機会でも周知、啓発をしていくことが必要であると考えている。

(裏面へ続く)



現在の洪水ハザードマップ
本年度中に見直しした最新版を全戸配布

未浸水対策の桜井地区、事業化の予算付を検討へ

(1面から続く)

土家

昭和57年から3回以上浸水している大福と栗殿、三輪のそれぞれが浸水常襲地域に指定された。これを受けて市は一定の対応をしてきたが、未だに市のど真ん中にある本町通りを中心として大きな被害を受けられた地域がある。

市としては、事業化のため、地権者との話し合いを進めていただいているが、上流だけでなく下流からも並行して早く事業を進めなければ本町通り5丁目、6丁目を中心とした県道吉野線から栗原川に水が押し寄せてしまう。是非、双方の地権者との交渉を進めてもらいたい。これについて市長の考えは。

市長

桜井地区での貯留槽建設は、浸水害を繰り返している沿道周辺の方々の長年にわたる願いであると十分認識している。水路下流側の梨本町におけるバイパス水路の建設としては、上流側で計画している貯留槽建設に必要な工



国道168号と県道桜井吉野線の交差点。集中豪雨時は車の通行が困難なほど浸水被害を受ける

事進入路になる道路用地の交渉が行えないことも担当者から聞いている。双方の地権者からの合意が得られるのであれば、工事に必要な用地取得にかかる予算について前向きに検討していきたい。

危機管理監

いざ避難が必要な時に適切な行動を起こすためには、平時から地域の災害リスクを共有しておくことが重要。そのためにはハザードマップによるリスクの確認が最も基本的な取り組みになる。現在も訓練を実施していただいているが、今後についても、地域の自主防災組織における研修などに積極的に活用して

土家

桜井地区の浸水対策を進めていくことをお願いしたい。また、各地域でハザードマップを活用した防災避難訓練などが行われているのかどうか、危機

市内学校でのいじめ問題や暴力

早期発見、未然防止を

昨年の市議会12月定例会では、市内の学校でのいじめ問題や暴力についても一般質問を行いました。インターネットやSNSなど、目に見えにくい場所でのいじめが増加している中、早期発見や未然防止への取り組みについて求めました。

土家

暴力が伴ういじめをはじめ、近年はインターネット上のいじめがあり、これは外部から見えにくく、深刻化している。いじめ問題への対応は学校における最重要課題の一つ。桜井市での取り組みを聞きたい。

教育長

平成24年に市内中25年度には指導の重点をまとめたリーフレット「いじめを許さない学校づくりのために」を作成、29年度には桜井市いじめ防止基本方針を策定し、いじめ根絶に向けて取り組んできた。近ごろはインターネット、SNS

管理監に聞きたい。

いざ避難が必要

いざ避難が必要な時に適切な行動を起こすためには、平時から地域の災害リスクを共有しておくことが重要。そのためにはハザードマップによるリスクの確認が最も基本的な取り組みになる。現在も訓練を実施していただいているが、今後についても、地域の自主防災組織における研修などに積極的に活用して

だくよう働きかけていく。

土家

以前の議会で指摘した、難行動要支援者の名簿作成や整理を進めてもらっていると思うが、その後の進捗は。

福祉保健部長

名簿作成のため同意の取得を進め、現在対象者約3000人の3分の1にあたる1000人の同意をいただいた。県年度末には、1回目の名簿提供を完了するように進めている。

の早期発見に苦慮している。未然防止、早期発見、早期解決に向けて教育委員会、学校、家庭、地域など関係機関が一丸となるよう取り組みを進めていくことが重要と考えている。

土家

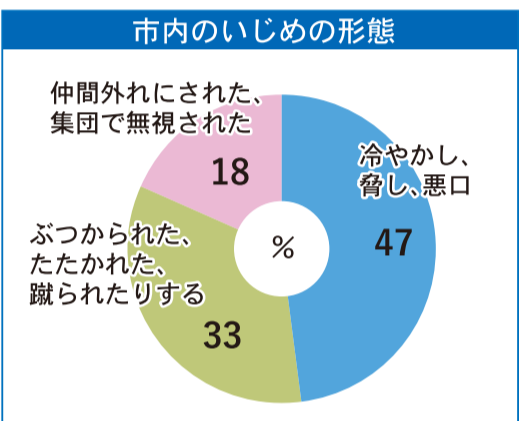
県内の学校で認知したいじめ件数は計7万47468件で、前年度より1802件増加。児童生徒1000人あたりの認知件数は50.3件となっているが、実態はもっと多いと思われる。桜井市でのいじめの内容はどのようなになっているか。

教育委員会事務局長

市内のいじめの形態は「冷やかし」「脅し」「悪口」が最も多く47%、また暴力行為に当たる「ぶつかられた」「たたかれた」「蹴られたりする」は33%、次いで「仲間外れにされた」「集団で無視された」が18%になっている。

土家

市内の中学校では昨年10月、男子生徒が男性教員をなぐり、けがを負わせる傷害



洪水ハザードマップ 市民への周知に課題

市民の皆さまには、日ごろから土家の議会活動に対し、格別のご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年の台風の影響で全国で被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

市議会12月定例会で土家は、これら洪水や浸水の問題を取り上げ、「洪水ハザードマップ」を市民の皆さまにいかに周知を図っていくかに課題があると指摘しました。

市は年度内に新たなハザードマップが完成し、各戸に配布するようですが、ぜひ皆さまには目を通していただき確認をお願いします。また近くに避難するのが難しい高齢者の方がおられないかなど、自助、共助について考える機会にさせていただきたいと思います。

(土家靖起後援会会長・勾田義浩)

つちや靖起

現職
桜井市議会議員
桜井市ソフトボール協会顧問
成重区顧問
桜井西地区社会福祉協議会会長
NPO法人ひかりの森理事
奈良県市町村職員年金者連盟桜井支部長

主な経歴
桜井市市長公室長
平成15年桜井市議選初当選
平成19年桜井市議選2選
平成23年桜井市議選3選
平成24年桜井市議選議長
平成27年桜井市議選4選
平成31年桜井市議選5選

市政に対する要望・ご意見・ご提言をお寄せ下さい。

メール tuchiya@seikatubunka.jp
633-0064 桜井市戒重57 電話0744-43-9288

年始などのあいさつは議員活動を優先させていただきます。市民の皆さま方には、何卒ご理解のほど、お願い申し上げます。